

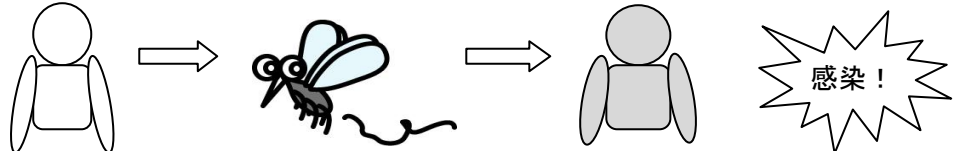
## ジカウイルス感染症について

## ★中南米諸国でジカウイルス感染症が流行しています。

## ジカウイルス感染症とは・・・

ジカウイルスを持った蚊（ネッタイシマカ・ヒトスジシマカ）に刺されることによって生じる感染症です。

ウイルスを持った人



★症状：軽度の発熱（ $<38.5^{\circ}\text{C}$ ）、頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹、結膜炎、疲労感、倦怠感など

★感染してから症状が出るまでの期間：蚊に刺されてから2日～12日（多くは2日～7日）後

★治療法：特効薬やワクチンはありません。症状に応じた対症療法となります。

1週間程度で回復し、予後良好なことが多いです。

- ・ヒトが感染しても、不顕性感染（はっきりした症状がでない）が8割以上といわれています。
- ・ジカウイルス感染と小頭症やギラン・バレー症候群との関連があることが分かりました。

## ★蚊媒介感染症対策は、蚊に刺されないことが大事です。

**蚊は感染症を媒介しますので、日頃から蚊に刺されないように防除することが大切です！**

- ・屋外での作業時は、長袖・長ズボンを着用し、上手に虫除け剤等を使用しましょう。

## 蚊を発生させないようにしましょう

- ・放置されたバケツ・古タイヤ・植木鉢の受け皿  
空き缶等の水溜まりの除去や茂みを剪定しましょう。

中南米・カリブ海地域・オセアニア太平洋諸島・  
アフリカ・アジア地域でも発生の報告があります。  
海外最新流行情報は「厚生労働省ジカウイルス  
感染症」のHPをチェック！！

## ★海外に渡航予定の方へ

- ・渡航先の感染症の流行情報を確認しましょう。

ジカウイルス感染症発生地域への渡航予定の場合、蚊対策を行いましょう。

- ・妊婦さんは流行地への渡航は控えてください。

- ・ジカウイルスは精液に含まれるといわれており、妊娠中・妊娠の可能性のあるパートナーとの性行為には、コンドームの使用が勧奨されています。

流行地域から帰国した男女は症状の有無にかかわらず、最低8週間、性行為の際にコンドームを使用するか性行為を控えるようにしましょう。

- ★流行地で蚊に刺されてから2日～12日程度で症状が出たときには、早めに医療機関を受診しましょう。すべての蚊がジカウイルスを持っているわけではないので、蚊に刺されたというだけで心配する必要はありません。

<ご相談先> 神戸市保健所予防衛生課 感染症担当 電話322-6789

厚労省 ジカウイルス感染症について <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

国立感染症研究所 ジカウイルス感染症のリスクアセスメント

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/2358-disease-based/sa/zika-fever/6227-zikara-160216.html>

神戸市ホームページ ジカウイルス感染症について <http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/protect>

